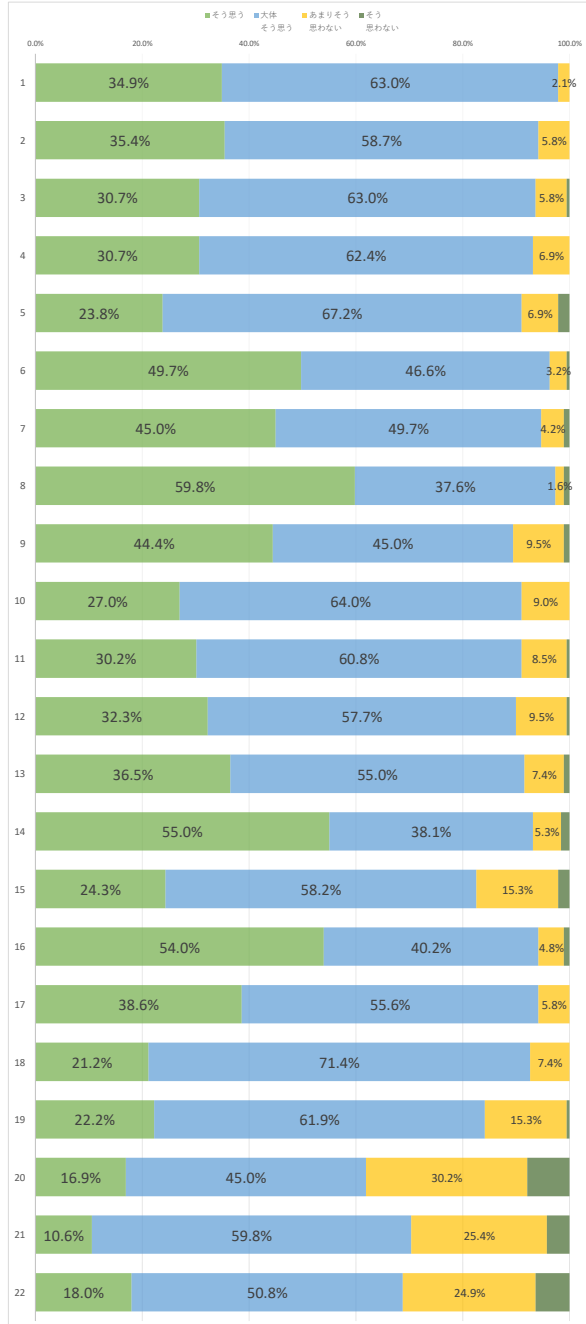


我孫子市立湖北小学校 令和6年度 「よりよい学校づくりアンケート」学校評価アンケート（保護者）

		そう思う	大体 そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1	学校は教育目標や方針、活動をわかりやすく伝えている。	34.9%	63.0%	2.1%	0.0%
2	学校は様々な行事や体験を通じて、児童の「生きる力」を伸ばそうと努力している	35.4%	58.7%	5.8%	0.0%
3	学校は、施設・設備の安全管理や校舎内外の美化等、環境の整備に努めている。	30.7%	63.0%	5.8%	0.5%
4	学校は、保護者や地域の期待に応える教育活動を行おうと努めている。	30.7%	62.4%	6.9%	0.0%
5	学校は、いじめのない学校づくりに努めている。	23.8%	67.2%	6.9%	2.1%
6	学校は、保護者や地域の方々に学習や行事を参観する場を設けている。	49.7%	46.6%	3.2%	0.5%
7	学校は、学校だよりやHP等で家庭や地域へ情報を積極的に提供している。	45.0%	49.7%	4.2%	1.1%
8	学校は、栄養のバランスや食の安全に配慮して、給食を提供するなど、健康の保持増進を図っている。	59.8%	37.6%	1.6%	1.1%
9	学校は、読書活動を充実しようと努めている。	44.4%	45.0%	9.5%	1.1%
10	教職員は、ICTを活用して、授業を行っている。	27.0%	64.0%	9.0%	0.0%
11	教職員は、主体的・対話的で深い学びを意識して、授業改善に努めている。	30.2%	60.8%	8.5%	0.5%
12	教職員は、子供をよく理解し、相談・支援・指導を適切に行っている。	32.3%	57.7%	9.5%	0.5%
13	教員は、熱心に授業に取り組み、適切に評価している。	36.5%	55.0%	7.4%	1.1%
14	子供は、学校に楽しく通っている。	55.0%	38.1%	5.3%	1.6%
15	子供は、学習内容をよく理解している。	24.3%	58.2%	15.3%	2.1%
16	子供は、学校行事や学習活動に積極的に参加している。	54.0%	40.2%	4.8%	1.1%
17	子供は、思いやりの心をもって人に接している。	38.6%	55.6%	5.8%	0.0%
18	子供は、公共の場でのマナーが守れている。	21.2%	71.4%	7.4%	0.0%
19	子供は、挨拶の習慣が身についている。	22.2%	61.9%	15.3%	0.5%
20	子供は、登校時間、帰宅時間、ゲームやスマートフォンなどの使用時間を守ることができている。	16.9%	45.0%	30.2%	7.9%
21	子供は、正しい言葉づかいが身についている。	10.6%	59.8%	25.4%	4.2%
22	湖北中学校区では、小中一貫教育の充実に努めている。 ・Abi☆小中一貫カリキュラムに関する実践（Abi-ふるさと・Abi-キャリア）を知っている。 ・小中一貫の日や、その他の小中交流活動等を知っている。	18.0%	50.8%	24.9%	6.3%



<アンケートの結果から>

- 1の学校の方針等については、保護者には、ご理解いただいていることがわかる。
- 2の学校の教育活動については、その意味や目的に賛同いただいていることがわかる。
- 3では、環境整備についての努力は認めていただいている。
- 4の保護者や地域の期待には、おおむねえられているようだが、消極的な意見が6.9%あり、十分にえらられていないようである。
- 5のいじめ対策については、前年度に比べれば減少しているが、消極的な意見が9%あるので、対策が十分とれていない面がある。
- 6の参観の場については、おおむね理解をいただいている。
- 7の学校だよりや学年だより、スクリレやホームページなどを活用することで、保護者に情報が伝わっていることがわかる。
- 8の給食や食育に関しては、前年度と同様で、多くの保護者の理解をいただいている。
- 9の読書活動については、おはなしたまごのボランティアや移動図書館の導入、学校図書館の活用などの取り組みから、好意的な評価をいただいている。
- 10のICT活用、11の授業改善では、前年度よりも肯定的な回答をいただいている。
- 12の生徒指導、教育相談については、前年度よりも肯定的な回答が増加したが、10%の保護者が消極的な意見をもっている。
- 13の教職員の教育活動についても信頼は厚いことがわかる。
- 14では、約7%の児童が学校を楽しくないと感じていることがわかる。前年度は約12%。
- 15の学習内容の理解については、17.4%の保護者が不十分だと感じている。前年度は21.1%。
- 16の学校行事、学習活動への参加は、前年度とほぼ同様で、ご理解をいただけてる。
- 17の思いやり、18の公共のマナーについては、消極的な意見が増加している。
- 19・20・21の挨拶、時間、言葉づかいについては、半数以上の保護者はできていると感じているが、消極的な意見の割合が他の項目の回答よりも大幅に増加している。
- 22の小中一貫教育では、多くの肯定的な意見をいただいている反面、消極的な意見は前年度よりも増加している。

<成果と課題>

アンケートの結果から、保護者に高く評価いただいている点は、学習や行事の参観や、学校からの情報提供についてである。学習参観や行事等で児童の様子を見ていただく機会では、毎回多くの保護者の来校がある。また、情報提供については、たよりやスクリレ、ホームページなどで、できる限り迅速に対応することを心がけてきた。今後も迅速で適切な情報提供を継続していく。次に食に関する取り組みについてである。家庭環境や児童の好き嫌いなどの課題はあるが、児童の意見を給食に取り入れるなど工夫しながら、食への関心を高めている成果と言える。

本校の課題としては、次のことがあげられる。学習内容の理解については、スクールサポートスタッフやスクールサポート教員、少人数指導を導入し、個別指導の充実を図っているが、まだ、不十分な点がある。これまでの学習方法も大切にしながら、ICTを活用した学習方法についても研究を進め、一人ひとりの課題に対応できるような学習環境の構築に努めたい。次に、挨拶の励行、時間を守る、正しい言葉遣いについては学校での日々の生活指導だけでなく、家庭との連携も大切であるため、今後もさらに児童の情報共有を行い、連携を図っていきたいと考えている。最後に湖北中区の小中一貫教育については、9年間を通したカリキュラム作成や交流活動の実践を行っているところであるが、保護者への認知度がまだ十分でないので、さらなる充実を目指す。また、学校だより等でも保護者に発信していく必要がある。